

(1時間:45分)

授 業 科 目	必須/選択の別	学年	標準時間数
Linux	必須	2	30
Webアプリケーション構築1	〃	2	60
SEA/J基礎	〃	2	60
Python/AIプログラミング	〃	2	90
実践システム開発演習	〃	2	30
企画と提案	〃	2	30
フロント開発	〃	2	50
小計			350
総合情報処理1-2(レベル2)	必須選択 ※1	2	60
総合情報処理1-2(レベル3)	〃	2	60
総合情報処理1-2(レベル4)	〃	2	60
自主課題研究1-2	〃	2	60
総合情報処理2(レベル2)	〃	2	180
総合情報処理2(レベル3)	〃	2	180
総合情報処理2(レベル4)	〃	2	180
自主課題研究2	〃	2	180
総合情報処理3-1(レベル2)	〃	2	100
総合情報処理3-1(レベル3)	〃	2	100
総合情報処理3-1(レベル4)	〃	2	100
自主課題研究3-1	〃	2	100
オブジェクト指向プログラミング	必須選択A ※2	2	90
Webアプリケーション構築2	〃	2	80
アプリケーション開発技術	〃	2	60
AIの活用と開発手法	〃	2	30
Linuxサーバ技術1	必須選択B ※2	2	110
Linuxサーバ技術2	〃	2	110
サーバ構築演習	〃	2	40
小計			600
必須科目計			950

※1 必須選択は、各太枠内から1科目選択する。

※2 必須選択A、Bは、A群またはB群のすべての科目を選択する。

システムエンジニア科2年 授業科目のシラバス一覧

科目番号	科目名	実務経験者による授業	履修年次	単位時間数	時間数(90分)	科目概要
シスー 2 001	Linux	-	2年	30	15	サーバOSとして高いシェア率のLinuxについて、講義・実習問題を通して知識と基本操作を習得する。
Hー 2 110	Webアプリケーション構築1	○	2年	60	30	サーバサイドプログラミングの基本であるJavaサーブレットとJSPの概念や仕組み、データベースとの連携などを学習し、簡単なWebアプリケーションを構築する。 なお、本科目はIT企業でシステム開発にかかわる実務経験を持つ講師が、幅広い知識と経験を活かして授業を行う。
コアー 2 003	SEA/J基礎	○	2年	60	30	情報セキュリティ全般の知識について、SEA/J基礎コースの講義と模擬問題を通して習得する。 なお、本科目はIT企業でネットワークとセキュリティにかかわるシステム開発に携わった実務経験を持つ講師が、幅広い知識と経験を活かして授業を行う。
Hー 2 806	Python/AIプログラミング	-	2年	90	45	AIサービスの開発に利用されているPythonについて、演習を通して言語の基礎知識を学び、基本文法や機械学習等のプログラミング技術を習得する。また、Python 3 エンジニア認定基礎試験の取得を目指す。
シスHー 2 131	実践システム開発演習	○	2年	30	15	システム開発の上流工程(要件定義、基本設計)について、5~6名のプロジェクトチームによるグループワーク形式での演習を通して、上流工程の一連の流れについて習得する。 なお、本科目は現役のシステムエンジニアが、実務経験に基づく幅広い知識と経験を活かして授業を行う。
人力HSー 2 001	企画と提案	-	2年	30	15	提案書作成という課題を通して、決められたテーマについて「考え」「話し合い」「プレゼンテーション」を行うことで、企画や提案を実現に結びつけるための考え方と技法を習得する。
Hー 2 173	フロント開発	-	2年	50	25	Webアプリケーションを開発する上で必要となるJavaScriptについて、講義・演習・実習課題を通して基本文法から動的なWebページの開発方法までを習得する。
Hー 2 136	総合情報処理1-2(レベル2)	-	2年	60	30	総合情報処理1-1 レベル2の継続科目で、経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル2:「基本情報技術者試験(レベル2)」シラバスに準拠した知識を習得する。
Hー 2 137	総合情報処理1-2(レベル3)	-	2年	60	30	総合情報処理1-1 レベル3の継続科目で、経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル3:「応用情報技術者試験(レベル3)」シラバスに準拠した知識を習得する。

システムエンジニア科2年 授業科目のシラバス一覧

科目番号	科目名	実務経験者による授業	履修年次	単位時間数	時間数(90分)	科目概要
H - 2 138	総合情報処理1-2(レベル4)	-	2年	60	30	総合情報処理1-1 レベル4の継続科目で、情報セキュリティスペシャリスト試験の後継となる試験で情報セキュリティに関する高度な知識・技能(スキルレベル4)を認定する試験である情報処理安全確保支援士試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル4:「情報処理安全確保支援士試験(レベル4)」シラバスに準拠した知識を習得する。
H - 2 126	自主課題研究1-2	-	2年	60	30	自主課題研究1-1の継続科目で、各自設定したテーマにもとづいて創作(学習)活動をする。学習した内容を総合的に活用し、社会人として実践的に活用可能なテーマを個人ごとに設定し、創作(学習)活動をする。 ① 過去に習得したゲーム開発技術を応用し、自分のスキルをアピールすることができる作品の制作を目指す。 ② 高度種等の国家試験取得をテーマに設定した場合は、独立行政法人情報処理推進機構が提供する目標資格シラバスにもとづいて、各自スケジュールを管理して学習する。
H - 2 139	総合情報処理2(レベル2)	-	2年	180	90	経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル2:「基本情報技術者試験(レベル2)」シラバスに準拠した知識を習得する。
H - 2 140	総合情報処理2(レベル3)	-	2年	180	90	経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル3:「応用情報技術者試験(レベル3)」シラバスに準拠した知識を習得する。
H - 2 141	総合情報処理2(レベル4)	-	2年	180	90	情報セキュリティスペシャリスト試験の後継となる試験で情報セキュリティに関する高度な知識・技能(スキルレベル4)を認定する試験である情報処理安全確保支援士試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル4:「情報処理安全確保支援士試験(レベル4)」シラバスに準拠した知識を習得する。
H - 2 127	自主課題研究2	-	2年	180	90	学習した内容を総合的に活用し、社会人として実践的に活用可能なテーマを個人ごとに設定し、創作(学習)活動をする。 ① 過去に習得したゲーム開発技術を応用し、自分のスキルをアピールすることができる作品の制作を目指す。 ② 高度種等の国家試験取得をテーマに設定した場合は、独立行政法人情報処理推進機構が提供する目標資格シラバスにもとづいて、各自スケジュールを管理して学習する。
H - 2 142	総合情報処理3-1(レベル2)	-	2年	100	50	経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル2:「基本情報技術者試験(レベル2)」シラバスに準拠した知識を習得する。
H - 2 143	総合情報処理3-1(レベル3)	-	2年	100	50	経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル3:「応用情報技術者試験(レベル3)」シラバスに準拠した知識を習得する。
H - 2 144	総合情報処理3-1(レベル4)	-	2年	100	50	情報セキュリティスペシャリスト試験の後継となる試験で情報セキュリティに関する高度な知識・技能(スキルレベル4)を認定する試験である情報処理安全確保支援士試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル4:「情報処理安全確保支援士試験(レベル4)」シラバスに準拠した知識を習得する。

システムエンジニア科2年 授業科目のシラバス一覧

科目番号	科目名	実務経験者 による授業	履修 年次	単位 時間数	時間数 (90分)	科目概要
H - 2 128	自主課題研究3-1	-	2年	100	50	学習した内容を総合的に活用し、社会人として実践的に活用可能なテーマを個人ごとに設定し、創作(学習)活動をする。 ① 過去に習得したゲーム開発技術を応用し、自分のスキルをアピールすることができる作品の制作を目指す。 ② 高度種等の国家試験取得をテーマに設定した場合は、独立行政法人情報処理推進機構が提供する目標資格シラバスにもとづいて、各自スケジュールを管理して学習する。
シスH - 2 005	オブジェクト指向プログラミング	-	2年	90	45	プログラムで実現したいこと(正解)に辿り着くためのオブジェクト指向による考え方を学び、オブジェクト指向の本質的な理解を目指す。 カプセル化、継承、多態性にフォーカスし、単元ごとの演習課題では実際に手を動かしたり、考えたりすることで、オブジェクト指向でゼロからプログラムを作成する力を身につける。 最終課題では、ペアまたはチームで簡単なJavaアプリケーションを作成する。
HJ - 2 111	Webアプリケーション構築2	-	2年	80	40	本科目の実施前に学習した技術(HTML、jQuery、JSP、サーブレット、DAOなどを駆使して、Webアプリケーションを構築する。 機能を限定したプロトタイプアプリをハンズオン形式で作成する中で、実際のシステム開発の現場でも使う開発手法や実装方法について学ぶ。開発作業は、3~4人のチームでソース共有をしながら実施する。
シスH - 2 006	アプリケーション開発技術	-	2年	60	30	アプリケーション(ソフトウェア)の要件に応じて、適切なプログラムとデータベースを作成するための設計方法と手順を学ぶ。 UMLとER図にフォーカスし、単元ごとの演習課題では実際に手を動かしたり、考えたりすることで、アプリケーション開発に必要な技術を身につける。ソフトウェア開発支援ツールを使用した各設計の作図にも触れる。
シスH - 2 168	AIの活用と開発手法	-	2年	30	15	AI(人工知能)の「しくみ」「活用法」「利点・欠点」について、事例や演習・実習を通してAI関連システムの開発に必要な知識を学習する。
H - 2 103	Linuxサーバ技術1	-	2年	110	55	Linuxシステムの構築・運用・管理の知識について、テキストや模擬問題を通して学習する。また、LPI Level1 Exam 101、およびLinuC Level1 Exam 101の取得を目指す。
H - 2 104	Linuxサーバ技術2	-	2年	110	55	Linuxシステムの構築・運用・管理の知識について、テキストや模擬問題を通して学習する。また、LPI Level1 Exam 102、およびLinuC Level1 Exam 102の取得を目指す。
HSJ - 2 804	サーバ構築演習	-	2年	40	20	Linuxサーバの構築方法について、実習を通してLinuxのインストールや基本的なCUI操作などサーバ管理者としての基礎知識を学習する。

科目番号：シス-2001

科目名		時間数(90分)				
Linux		講義	演習	実習	合計	
				15	15	
科目概要	サーバOSとして高いシェア率のLinuxについて、講義・実習問題を通して知識と基本操作を習得する。					
学習到達目標	Linuxの概念を理解するとともにコマンドの使い方を習得することで、実際のサーバを操作できるスキルを習得する。					
講義計画	回	内容		回	内容	
	1	Linuxの概要		13	総合実習	
2	ユーザ管理		14			
	3	プロセス		15	科目試験	
	4	ファイルシステムとディレクトリの操作				
	5	パーミッション				
	6	シンボリックリンクとパス指定				
	7	エディタ (vi)				
	8	エディタ (jvim)				
	9	ネットワークとバックアップ関連コマンド				
	10	シェル				
	11	シェルの操作				
	12	シェルスクリプト				
使用教材	書籍名			出版社		
	主教材	改訂 基礎から学ぶLinux		SCC		
実習環境	Tera Term					
目標資格	資格名			実施団体		
成績評価方法	・科目試験 (100%)			<評価基準> 100~90点：秀 89~80点：優 79~70点：良 69~60点：可 59点以下：不可		

科目番号：H-2110

科目名		時間数(90分)			
		講義	演習	実習	合計
Webアプリケーション構築1		5	25		30
科目概要	<p>サーバサイドプログラミングの基本であるサーブレットと JSP の概念や仕組み、データベースとの連携方法を学習する。MVC モデルや DAO パターンのプログラム構成で簡単な Web アプリケーションを構築する。積み上げ型の最終課題を提示し、各単元の完了都度、そこまでの技術で課題作成を行う。</p> <p>なお、本科目は IT 企業でシステム開発にかかわる実務経験を持つ講師が、幅広い知識と経験を活かして授業を行う。</p>				
学習到達目標	<p>サーブレットと JSP で Web アプリケーションを構築できる。また、JDBC を使ったデータベースアクセスのプログラムを実装できる。</p>				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	環境構築	17	セッションスコープ	
2	Web のしくみ	19			
3 4	HTML と Web ページ	20			
5 6 7	サーブレット	22	アクションタグと EL 式		
8 9 10	JSP	23	JDBC プログラムと DAO パターン		
11 12 13	MVC モデル	25	最終課題作成		
14 15 16	リクエストスコープ	26 30			
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	スッキリわかるサーブレット&JSP 入門 第2版	インプレス		
	副教材				
実習環境	Eclipse				
	Tomcat				
	PostgreSQL(Heroku Postgres)				
目標資格	資格名		実施団体		
成績評価方法	・課題提出(100%)		<評価基準> 100~90点: 秀		
			89~80点: 優		
		79~70点: 良			
		69~60点: 可			
		59点以下: 不可			

科目番号：コア-2003

科目名		時間数(90分)			
SEA/J基礎		講義	演習	実習	合計
		30			30
科目概要	<p>情報セキュリティ全般の知識について、SEA/J基礎コースの講義と模擬問題を通して習得する。</p> <p>なお、本科目はIT企業でネットワークとセキュリティにかかわるシステム開発に携わった実務経験を持つ講師が、幅広い知識と経験を活かして授業を行う。</p>				
学習到達目標	SEA/J基礎(CSBM)資格を取得し、企業等でセキュリティ・リーダーとなる基礎知識を習得する				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	情報セキュリティマネジメント	15	ID管理と認証、パスワード認証、	
	2	セキュリティ運用		バイオメトリクス認証、認証デバイス	
	3	インフラセキュリティ	16	認証プロトコル、シングルサインオン、	
	4			アクセス制御手法	
	5	不正アクセス	17	プログラミング	
	6	ファイアウォールの概念	18	不正プログラム	
	7	ネットワークアクセスコントロール	19	不暗号の基礎、共通鍵	
		NAT	20	公開鍵、その他の鍵	
	8	ファイアウォールの導入と運用	21	電子署名	
	9	IDSの概要と構成	22	PKI	
		検知アルゴリズム	23	セキュリティプロトコル	
	10	侵入検知関連技術	24	標準規格	
	11	アプリケーションセキュリティ (DNS、電子メール)	25	法令	
			26	資格試験対策	
12	アプリケーションセキュリティ (Web)	27			
		28			
13	サービス管理、ファイルシステム管理、 アカウント管理、ネットワーク保護	29	科目試験		
		30			
14	修正プログラムの管理、ログ管理、 監査機能、TrustedOS				
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	情報セキュリティ技術認定 基礎コース テキスト	SEA/J		
実習環境					
目標資格	資格名		実施団体		
	情報セキュリティ技術認定 基礎(CSBM)		SEA/J		
	基本情報技術者試験		IPA 独立法人情報処理推進機構		
	応用情報技術者試験		IPA 独立法人情報処理推進機構		
情報セキュリティマネジメント試験		IPA 独立法人情報処理推進機構			
成績評価方法	・科目試験(100%)		<評価基準> 100~90点：秀 89~80点：優 79~70点：良 69~60点：可 59点以下：不可		

科目番号：H-2806

科目名		時間数(90分)						
Python/AIプログラミング		講義	演習	実習	合計			
			45		45			
科目概要	AIサービスの開発に利用されているPythonについて、実習を通して言語の基礎知識を学び、基本文法～ディープラーニング等のプログラミング技術を習得する。							
学習到達目標	Pythonを使った簡単なプログラムが作成できるようになるとともに、AIプログラムの基礎力を身に付ける。							
講義計画	回	内容		回	内容			
	1	導入(開発環境構築など)		16	ファイル処理とwith構文			
	2	計算処理		17				
	3	文字列操作		18	クラスとインスタンス			
	4	入力処理		19	標準ライブラリ			
	5	リスト型		20				
	6	条件分岐		21	AIサービスの活用			
	7	繰り返し処理		22	機械学習の基礎			
	8	関数		23				
	9	無名関数		24	ディープラーニング			
	10	リスト型のメソッド		25				
	11	内包表記		26 ～ 30			総合演習(最終成果物作成)	
	12	集合型、タプル型						
	13	辞書型						
	14	モジュールについて						
	15	パッケージについて						
使用教材	書籍名			出版社				
	主教材	わかるPython[決定版]		SBクリエイティブ				
	副教材							
実習環境	Python3系							
	開発環境群: Anaconda、Jupyter Notebook							
目標資格	資格名			実施団体				
	Python 3 エンジニア認定基礎試験			一般社団法人Pythonエンジニア育成推進協会				
成績評価方法	・科目試験(100%)			<評価基準> 100～80点: 優 79～70点: 良 69～60点: 可 59点以下: 不可				

科目番号：シス H-2131

科目名		時間数(90分)			
実践システム開発演習 ～株式会社SCCによる職業実践専門課程 企業連携演習授業～		講義	演習	実習	合計
		6	9		15
科目概要	システム開発の上流工程（要件定義、基本設計）について、5～6名のプロジェクトチームによるグループワーク形式での演習を通して、上流工程の一連の流れについて習得する。 なお、本科目は現役のシステムエンジニアが、実務経験に基づく幅広い知識と経験を活かして授業を行う。				
学習到達目標	企業連携授業による実際のシステム設計を体験し、システムエンジニアとしてシステムの構築方法やユーザーとの関わり方を身に付ける。				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	システム開発工程	14	成果発表会	
	2	提案依頼書(RFP)	15	まとめ・総評	
	3	要件定義			
	4	演習（要件定義）			
	5	基本設計			
	6	演習（論理DB設計、スケジュール、画面レイアウト）			
	7	基本設計書			
	8				
	9	演習（基本設計書）			
	10	・基本設計書			
	11	・成果発表会資料			
	12	・リハーサル			
	13				
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	実践システム開発演習（学習ノート）	SCC		
	その他	名刺、日報用紙、議事録用紙、基本設計書、発表タイトル			
実習環境	Microsoft Office Word 2019 Microsoft Office Excel 2019 Microsoft Office PowerPoint 2019				
目標資格	資格名		実施団体		
成績評価方法	・グループ評価（50%） 評価シート（インターンシップ会社評価） ・個人評価（50%） 別途定める評価シートに基づく		<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目番号：人力 HS-2001

科目名		時間数(90分)				
		講義	演習	実習	合計	
企画と提案		3	12		15	
科目概要	提案書作成という課題を通して、決められたテーマについて「考え」「話し合い」「プレゼンテーション」を行うことで、企画や提案を実現に結びつけるための考え方や技法を習得する。					
学習到達目標	企画、提案の基本的な考え方を理解するとともに、導き出したアイデアを提案書としてまとめ、訴求力のあるプレゼンテーションによって聴衆に提案内容を理解させることができる。					
講義計画	回	内容		回	内容	
	1	提案を知ろう				
	2	提案書の書き方				
	3	アイデアの収集と集約				
	4	話し合い①				
	5					
	6	話し合い②				
	7					
	8	提案書作成とプレゼン準備				
	9					
	10					
	11	提案(プレゼンテーション)				
	12					
	13					
	14					
15	まとめ					
使用教材	書籍名			出版社		
	主教材	伝わるデザインの基本 増補改訂版 よい資料を作るためのレイアウトのルール		技術評論社		
	副教材					
実習環境	Microsoft Office Word 2019					
	Microsoft Office PowerPoint 2019					
目標資格	資格名			実施団体		
成績評価方法	・課題提出(100%)			<評価基準> 100~80点：秀 89~80点：優 79~70点：良 69~60点：可 59点以下：不可		

科目番号：H-2173

科目名		時間数(90分)			
フロント開発		講義	演習	実習	合計
			25		25
科目概要	Webアプリケーションを開発する上で必要となる JavaScript について、講義・演習・実習課題を通して基本文法から動的な Web ページの開発方法までを習得する。				
学習到達目標	Webアプリケーションの構築や開発を望む企業に対し、JavaScript と HTML5 を使用してより良い解決方法を提案できる開発手法を身に付ける。 jQuery を活用して、見栄えのする動的な Web ページを作成する技術を身に付ける。				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	イントロダクション(環境構築など)	14	外部データを活用したアプリケーション 総合演習(最終成果物作成)	
2	アウトプットの基本	15			
3	JavaScript の文法と基本的な機能	16			
~		25			
5					
6	インプットとデータの加工				
7	1歩進んだテクニック				
~					
9					
10	jQuery 入門				
~					
13					
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	確かな力が身につく JavaScript 「超」入門 第2版	SBクリエイティブ		
	副教材				
実習環境	Visual Studio Code				
	Google Chrome				
目標資格	資格名		実施団体		
成績評価方法	・課題提出(100%)		<評価基準> 100~90点：秀 89~80点：優 79~70点：良 69~60点：可 59点以下：不可		

科目番号：H-2136

科目名		時間数(90分)					
総合情報処理 1-2 (レベル 2)		講義	演習	実習	合計		
		30			30		
科目概要	総合情報処理 1-1 レベル 2 の継続科目で、経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル 2：「基本情報技術者試験（レベル 2）」シラバスに準拠した知識を習得する。						
学習到達目標	レベル 2：「基本情報技術者試験（レベル 2）」シラバスに従い体系的に学習し、基本情報技術者試験の取得レベルの知識を身に付ける。						
講義計画	回	内容		回	内容		
	1-2	サービスマネジメント/システム監査					
	3	システム戦略/システム企画					
	4-6	経営戦略マネジメント/技術戦略マネジメント/ビジネスインダストリ					
	7-12	企業活動/法務					
	13-15	模試 3					
	16-18	弱点補強 3					
	19-22	弱点補強 言語系					
	23-26	弱点補強 設計系					
	27-30	国家試験					
使用教材	書籍名			出版社			
	主教材	各コースで選定された対策テキスト					
	副教材						
実習環境							
目標資格	資格名			実施団体			
	基本情報技術者試験			IPA 独立法人情報処理推進機構			
成績評価方法	・科目試験 (100%)			<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可			

科目番号：H-2137

科目名		時間数(90分)			
総合情報処理 1-2 (レベル 3)		講義	演習	実習	合計
		30			30
科目概要	総合情報処理 1-1 レベル 3 の継続科目で、経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル 3：「応用情報技術者試験 (レベル 3)」シラバスに準拠した知識を習得する。				
学習到達目標	レベル 3：「応用情報技術者試験 (レベル 3)」シラバスに従い体系的に学習し、応用情報技術者試験の取得レベルの知識を身に付ける。				
講義計画	回	内容		回	内容
	1-6	AM対策			
	7-13	PM対策			
	14-16	模擬試験 1			
	17-20	弱点補強 1			
	21-23	模擬試験 2			
	24-30	弱点補強 2			
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	各コースで選定された対策テキスト			
	副教材				
実習環境					
目標資格	資格名		実施団体		
	応用情報技術者試験		IPA 独立法人情報処理推進機構		
成績評価方法	・科目試験 (100%)		<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目番号：H-2138

科目名		時間数(90分)			
総合情報処理 1-2 (レベル 4)		講義	演習	実習	合計
		30			30
科目概要	総合情報処理 1-1 レベル 4 の継続科目で、情報セキュリティスペシャリスト試験の後継となる試験で情報セキュリティに関する高度な知識・技能（スキルレベル 4）を認定する試験である情報処理安全確保支援士試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル 4：「情報処理安全確保支援士試験（レベル 4）」シラバスに準拠した知識を習得する。				
学習到達目標	レベル 4：「情報処理安全確保支援士試験（レベル 4）」シラバスに従い体系的に学習し、情報処理安全確保支援士試験の取得レベルの知識を身に付ける。				
講義計画	回	内容		回	内容
	1-3	AM対策			
	4-6	模擬試験 2			
	7-15	模擬試験 2 解説			
	16-18	AM対策			
	19-21	模擬試験 3			
	22-27	模擬試験 3 解説			
	28-30	弱点对策			
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	各コースで選定された対策テキスト			
	副教材				
実習環境					
目標資格	資格名		実施団体		
	情報処理安全確保支援士試験		IPA 独立法人情報処理推進機構		
成績評価方法	・科目試験（100%）		<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目名		時間数(90分)			
		講義	演習	実習	合計
自主課題研究 1-2			30		30
科目概要	自主課題研究 1-1 の継続科目で、各自設定したテーマにもとづいて創作(学習)活動をする。学習した内容を総合的に活用し、社会人として実践的に活用可能なテーマを個人ごとに設定し、創作(学習)活動をする。 ① 過去に習得したゲーム開発技術を応用し、自分のスキルをアピールすることができる作品の制作を目指す。 ② 高度種等の国家試験取得をテーマに設定した場合は、独立行政法人情報処理推進機構が提供する目標資格シラバスにもとづいて、各自スケジュールを管理して学習する。				
学習到達目標	所属学科によって選択するものは異なる。 ① クリエイタ系の就職活動で必須となる作品審査に提出することのできるゲーム作品を1作品完成させるとともに付随する作品紹介資料を完成させる。 ② 国家試験取得をテーマに設定した場合は、独立行政法人情報処理推進機構が提供するシラバスに準拠した知識を身に付ける。				
講義計画	回	内容		回	内容
	1-30	自主創作(学習)活動			
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	各自必要となるテキストを用意			
実習環境					
目標資格	資格名		実施団体		
成績評価方法	・課題提出(100%)		<評価基準> 100~90点：秀 89~80点：優 79~70点：良 69~60点：可 59点以下：不可		

科目番号：H-2139

科目名		時間数(90分)			
総合情報処理2(レベル2)		講義	演習	実習	合計
		90			90
科目概要	経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル2:「基本情報技術者試験(レベル2)」シラバスに準拠した知識を習得する。				
学習到達目標	レベル2:「基本情報技術者試験(レベル2)」シラバスに従い体系的に学習し、基本情報技術者試験の取得レベルの知識を身に付ける。				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1-7	ガイダンス、基礎理論	61-62	サービスマネジメントとシステム監査	
	8-17	アルゴリズムとプログラミング	63	システム戦略と企画	
	18-22	コンピュータ構成要素	64-66	戦略マネジメント	
	23-24	システム構成要素	67-72	企業活動と法務	
	25-28	ソフトウェア/ハードウェア	73-75	模試3	
	29	ヒューマンインタフェース/マルチメディア	76-87	弱点補強3	
	30-31	模試1	88-90	国家試験	
	32	弱点補強1			
	33-38	データベース			
	39-48	ネットワーク/セキュリティ			
	49-53	システム開発技術			
	54-55	模試2			
	56	弱点補強2			
	57-58	ソフトウェア開発管理技術			
	59-60	プロジェクトマネジメント			
使用教材	書籍名			出版社	
	主教材	各コースで選定された対策テキスト			
	副教材				
実習環境					
目標資格	資格名			実施団体	
	基本情報技術者試験			IPA 独立法人情報処理推進機構	
成績評価方法	・科目試験(100%)			<評価基準>	
				100~90点: 秀 89~80点: 優 79~70点: 良 69~60点: 可 59点以下: 不可	

科目番号：H-2140

科目名		時間数(90分)			
総合情報処理2(レベル3)		講義	演習	実習	合計
		90			90
科目概要	経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル3:「応用情報技術者試験(レベル3)」シラバスに準拠した知識を習得する。				
学習到達目標	レベル3:「応用情報技術者試験(レベル3)」シラバスに従い体系的に学習し、応用情報技術者試験の取得レベルの知識を身に付ける。				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	ガイダンス	76-78	模擬試験3	
	2-4	コンピュータ科学基礎	79-80	弱点補強3	
	5-7	コンピュータアーキテクチャ	88-90	国家試験	
	8-10	基本ソフトウェア			
	11-15	通信ネットワーク			
	16-20	データベース			
	21-25	ソフトウェア工学			
	26-30	システム構成技術			
	31-35	マネジメント			
	36-45	AM対策			
	46-55	PM対策			
	56-58	模擬試験1			
	59-65	弱点補強1			
	66-68	模擬試験2			
	69-75	弱点補強2			
使用教材	書籍名			出版社	
	主教材	各コースで選定された対策テキスト			
	副教材				
実習環境					
目標資格	資格名			実施団体	
	応用情報技術者試験			IPA 独立法人情報処理推進機構	
成績評価方法	・科目試験(100%)			<評価基準>	
				100~90点: 秀 89~80点: 優 79~70点: 良 69~60点: 可 59点以下: 不可	

科目番号：H-2141

科目名		時間数(90分)			
総合情報処理2(レベル4)		講義	演習	実習	合計
		90			90
科目概要	情報セキュリティスペシャリスト試験の後継となる試験で情報セキュリティに関する高度な知識・技能(スキルレベル4)を認定する試験である情報処理安全確保支援士試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル4:「情報処理安全確保支援士試験(レベル4)」シラバスに準拠した知識を習得する。				
学習到達目標	レベル4:「情報処理安全確保支援士試験(レベル4)」シラバスに従い体系的に学習し、情報処理安全確保支援士試験の取得レベルの知識を身に付ける。				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	ガイダンス	66-68	AM対策	
	2-3	情報セキュリティ	69-71	模擬試験3	
	4	リスクマネジメント	72-77	模擬試験3解説	
	5-12	主な侵入・攻撃方法と対策	78-90	弱点対策	
	13-18	ネットワークセキュリティ			
	19-21	電子メール、Webアプリケーション			
	22-24	認証技術			
	25-35	情報セキュリティマネジメント			
	36	シングルサインオン			
	37-38	AM対策			
	39-41	模擬試験1			
	42-50	模擬試験1解説			
	51-53	AM対策			
	54-56	模擬試験2			
57-65	模擬試験2解説				
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	各コースで選定された対策テキスト			
	副教材				
実習環境					
目標資格	資格名		実施団体		
	情報処理安全確保支援士試験		IPA 独立法人情報処理推進機構		
成績評価方法	・科目試験(100%)		<評価基準> 100~90点: 秀 89~80点: 優 79~70点: 良 69~60点: 可 59点以下: 不可		

科目番号：H-2127

科目名		時間数(90分)					
自主課題研究2		講義	演習	実習	合計		
			90		90		
科目概要	学習した内容を総合的に活用し、社会人として実践的に活用可能なテーマを個人ごとに設定し、創作(学習)活動をする。 ① 過去に習得したゲーム開発技術を応用し、自分のスキルをアピールすることができる作品の制作を目指す。 ② 高度種等の国家試験取得をテーマに設定した場合は、独立行政法人情報処理推進機構が提供する目標資格シラバスにもとづいて、各自スケジュールを管理して学習する。						
学習到達目標	所属学科によって選択するものは異なる。 ① クリエイタ系の就職活動で必須となる作品審査に提出することのできるゲーム作品を1作品完成させるとともに付随する作品紹介資料を完成させる。 ② 国家試験取得をテーマに設定した場合は、独立行政法人情報処理推進機構が提供するシラバスに準拠した知識を身に付ける。						
講義計画	回	内容		回	内容		
	1	ガイダンス					
	2-3	学習テーマ設定					
	4-90	自主創作(学習)活動					
使用教材	書籍名			出版社			
	主教材	各自必要となるテキストを用意					
	副教材						
実習環境							
目標資格	資格名			実施団体			
成績評価方法	・課題提出1(50%) ・課題提出2(50%)			<評価基準> 100~90点：秀 89~80点：優 79~70点：良 69~60点：可 59点以下：不可			

科目番号：H-2142

科目名		時間数(90分)					
総合情報処理 3-1 (レベル 2)		講義	演習	実習	合計		
		50			50		
科目概要	経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル 2:「基本情報技術者試験 (レベル 2)」シラバスに準拠した知識を習得する。						
学習到達目標	レベル 2:「基本情報技術者試験 (レベル 2)」シラバスに従い体系的に学習し、基本情報技術者試験の取得レベルの知識を身に付ける。						
講義計画	回	内容		回	内容		
	1-5	ガイダンス、基礎理論					
	6-13	アルゴリズムとプログラミング					
	14-17	コンピュータ構成要素					
	18-19	システム構成要素					
	20-24	ソフトウェア/ハードウェア					
	25	ヒューマンインタフェース/マルチメディア					
	26-27	模試 1					
	28	弱点補強 1					
	29-33	データベース					
	34-40	ネットワーク/セキュリティ					
	41-43	システム開発技術					
	44-45	模試 2					
	46	弱点補強 2					
	47-48	ソフトウェア開発管理技術					
	49-50	プロジェクトマネジメント					
使用教材	書籍名			出版社			
	主教材	各コースで選定された対策テキスト					
	副教材						
実習環境							
目標資格	資格名			実施団体			
	基本情報技術者試験			IPA 独立法人情報処理推進機構			
成績評価方法	・科目試験 (100%)			<評価基準> 100~90点：秀 89~80点：優 79~70点：良 69~60点：可 59点以下：不可			

科目番号：H-2143

科目名		時間数(90分)					
総合情報処理 3-1 (レベル 3)		講義	演習	実習	合計		
		50			50		
科目概要	経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル 3：「応用情報技術者試験（レベル 3）」シラバスに準拠した知識を習得する。						
学習到達目標	レベル 3：「応用情報技術者試験（レベル 3）」シラバスに従い体系的に学習し、応用情報技術者試験の取得レベルの知識を身に付ける。						
講義計画	回	内容		回	内容		
	1	ガイダンス					
	2-4	コンピュータ科学基礎					
	5-8	コンピュータアーキテクチャ					
	9-12	基本ソフトウェア					
	13-18	通信ネットワーク					
	19-24	データベース					
	25-28	ソフトウェア工学					
	29-32	システム構成技術					
	33-38	マネジメント					
	39-40	AM対策					
	41-44	PM対策					
	45-47	模擬試験					
	48-50	弱点補強					
使用教材	書籍名			出版社			
	主教材	各コースで選定された対策テキスト					
	副教材						
実習環境							
目標資格	資格名			実施団体			
	応用情報技術者試験			IPA 独立法人情報処理推進機構			
成績評価方法	・科目試験（100%）			<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可			

科目番号：H-2144

科目名		時間数(90分)				
総合情報処理 3-1 (レベル 4)		講義	演習	実習	合計	
		50			50	
科目概要	情報セキュリティスペシャリスト試験の後継となる試験で情報セキュリティに関する高度な知識・技能(スキルレベル4)を認定する試験である情報処理安全確保支援士試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル4:「情報処理安全確保支援士試験(レベル4)」シラバスに準拠した知識を習得する。					
学習到達目標	レベル4:「情報処理安全確保支援士試験(レベル4)」シラバスに従い体系的に学習し、情報処理安全確保支援士試験の取得レベルの知識を身に付ける。					
講義計画	回	内容	回	内容		
	1	ガイダンス				
	2-3	情報セキュリティ				
	4	リスクマネジメント				
	5-16	主な侵入・攻撃方法と対策				
	17-23	ネットワークセキュリティ				
	24-29	電子メール、Webアプリケーション				
	30-36	認証技術				
	37-42	情報セキュリティマネジメント				
	43-45	シングルサインオン				
	46-48	模擬試験				
	49-50	模擬試験解説				
使用教材	書籍名			出版社		
	主教材	各コースで選定された対策テキスト				
	副教材					
実習環境						
目標資格	資格名			実施団体		
	情報処理安全確保支援士試験			IPA 独立法人情報処理推進機構		
成績評価方法	・科目試験(100%)			<評価基準>		
				100~90点: 秀 89~80点: 優 79~70点: 良 69~60点: 可 59点以下: 不可		

科目番号：H-2128

科目名		時間数(90分)					
自主課題研究 3-1		講義	演習	実習	合計		
			50		50		
科目概要	学習した内容を総合的に活用し、社会人として実践的に活用可能なテーマを個人ごとに設定し、創作(学習)活動をする。 ① 過去に習得したゲーム開発技術を応用し、自分のスキルをアピールすることができる作品の制作を目指す。 ② 高度種等の国家試験取得をテーマに設定した場合は、独立行政法人情報処理推進機構が提供する目標資格シラバスにもとづいて、各自スケジュールを管理して学習する。						
学習到達目標	所属学科によって選択するものは異なる。 ① クリエイタ系の就職活動で必須となる作品審査に提出することのできるゲーム作品を1作品完成させるとともに付随する作品紹介資料を完成させる。 ② 国家試験取得をテーマに設定した場合は、独立行政法人情報処理推進機構が提供するシラバスに準拠した知識を身に付ける。						
講義計画	回	内容		回	内容		
	1	ガイダンス					
	2-3	学習テーマ設定					
	4-50	自主創作(学習)活動					
使用教材	書籍名			出版社			
	主教材	各自必要となるテキストを用意					
	副教材						
実習環境							
目標資格	資格名			実施団体			
成績評価方法	・課題提出(100%)		<評価基準> 100~90点：秀 89~80点：優 79~70点：良 69~60点：可 59点以下：不可				

科目名		時間数(90分)			
オブジェクト指向プログラミング		講義	演習	実習	合計
		15	30		45
科目概要	<p>プログラムで実現したいこと(正解)に辿り着くためのオブジェクト指向による考え方を学び、オブジェクト指向の本質的な理解を目指す。</p> <p>カプセル化、継承、多態性にフォーカスし、単元ごとの演習課題では実際に手を動かしたり、考えたりすることで、オブジェクト指向でゼロからプログラムを作成する力を身につける。</p> <p>最終課題では、ペアまたはチームで簡単な Java アプリケーションを作成する。</p>				
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> カプセル化、継承、多態性の機能を用いたプログラムを作成できる。 オブジェクト指向のメリットを理解し、プログラムに反映できる。 ペアまたはチーム開発のメリットを理解し、協力してプログラムを作成できる。 				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	環境構築	19 20	高度な継承	
	2 ～ 7	Java 復習	21 22	多態性	
	8 9	インスタンスとクラス	23 24	例外処理	
	10 ～ 12	コンストラクタと静的メンバ	25 26	コレクションクラス	
	13 ～ 15	カプセル化	27 ～ 45	最終課題	
	16 ～ 18	継承			
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	なぜ、あなただけ Java でオブジェクト指向開発ができないのか?	技術評論社		
	副教材				
実習環境	Eclipse				
目標資格	資格名		実施団体		
成績評価方法	・課題提出(100%)		<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目番号：HJ-2111

科目名		時間数(90分)			
		講義	演習	実習	合計
Webアプリケーション構築2			40		40
科目概要	<p>本科目の実施前に学習した技術（HTML、jQuery、JSP、サーブレット、DAOなど）を駆使して、Webアプリケーションを構築する。</p> <p>機能を限定したプロトタイプアプリをハンズオン形式で作成する中で、実際のシステム開発の現場でも使う開発手法や実装方法について学ぶ。開発作業は、3～4人のチームでソース共有をしながら実施する。</p>				
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 普段利用する Web アプリケーションを意識して機能仕様を考え、実装できる。 ・ チーム開発のメリットを理解し、協力して Web アプリケーションを構築できる。 				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	演習内容の説明			
	2	環境構築			
	3 ～ 5	ソース共有			
	6 ～ 11	プロトタイプアプリの作成			
	12 ～ 40	グループ開発			
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	スッキリわかるサーブレット&JSP 入門 第2版	インプレス		
	副教材	Gitが、おもしろいほどわかる基本の使い方 33 改訂新版	エムディエヌコーポレーション		
実習環境	Eclipse				
	Tomcat				
	PostgreSQL(Heroku Postgres)				
目標資格	資格名		実施団体		
成績評価方法	・ 課題提出 (100%)		<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目名		時間数(90分)			
アプリケーション開発技術		講義	演習	実習	合計
		10	20		30
科目概要	アプリケーション(ソフトウェア)の要件に応じて、適切なプログラムとデータベースを作成するための設計方法と手順を学ぶ。 UMLとER図にフォーカスし、単元ごとの演習課題では実際に手を動かしたり、考えたりすることで、アプリケーション開発に必要な技術を身につける。ソフトウェア開発支援ツールを使用した各設計の作図にも触れる。				
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス図とシーケンス図を作成できる。 ・ER図とDDL/DMLを作成できる。 ・アプリケーション開発における設計の必要性を理解できる。 				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1 ～ 3	オブジェクト指向の考え方	13 ～ 17	データベース (概念設計-ER図)	
4 ～ 6	UML (クラス図)	18 ～ 21	データベース (論理設計-ER図)		
7 ～ 9	UML (シーケンス図)	22 ～ 25	データベース (物理設計-DDL/DML)		
10 ～ 12	UMLとプログラム	26 ～ 30	データベースとプログラム		
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	なぜ、あなただけ Java でオブジェクト指向開発ができないのか?	技術評論社		
副教材					
実習環境	Eclipse				
目標資格	資格名		実施団体		
成績評価方法	・課題提出(100%)		<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目番号：シス H-2168

科目名		時間数(90分)				
AIの活用と開発手法		講義	演習	実習	合計	
		9	3	3	15	
科目概要	AI(人工知能)の「しくみ」「活用法」「利点・欠点」について、事例や演習・実習を通してAI関連システムの開発に必要な知識を学習する。					
学習到達目標	AIの基礎知識と現状を理解し、将来に向けた最適なAIの提案とシステム構築への応用力を身につける。					
講義計画	回	内容		回	内容	
	1	AIの歴史		16		
	2	AIの発展過程		17		
	3	AIのビジネス活用		18		
	4	AIにできること		19		
	5	機械学習		20		
	6			21		
	7	ニューラルネットワーク		22		
	8	ディープラーニング(深層学習)		23		
	9	AIの実例(顔検出)		24		
	10	AIの実例(物体検出)		25		
	11	AIの実例(まとめ)		26		
	12	AIの実装手段		27		
	13	AIの発達と影響を受ける産業		28		
	14	AIの将来		29		
	15	科目試験		30		
使用教材	書籍名			出版社		
	主教材	AIの活用と開発手法(学習ノート)		SCC		
	副教材	実習用配布教材				
実習環境	VirtualBox + Linux 仮想マシン					
目標資格	資格名			実施団体		
	ITパスポート試験			IPA 独立法人情報処理推進機構		
	基本情報技術者試験			IPA 独立法人情報処理推進機構		
成績評価方法	・科目試験			<評価基準> 100~90点: 秀 89~80点: 優 79~70点: 良 69~60点: 可 59点以下: 不可		

科目名		時間数(90分)			
Linux サーバ技術 1		講義	演習	実習	合計
		55			55
科目概要	Linux システムの構築・運用・管理の知識について、テキストや模擬問題を通して学習する。また、LPI Level1 Exam 101、および LinuC Level1 Exam 101 の取得を目指す。				
学習到達目標	Linux システムの構築・運用・管理の内容を理解する。また、LPIC、および LinuC の Level1 Exam 101 に相当する知識と技術を習得する。				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1 ～ 10	システムアーキテクチャ ハードウェアの基本知識と設定、 Linux の起動とシャットダウン、 SysVinit、systemd	31 ～ 40	ファイルとプロセスの管理 基本的なファイル管理、パーミッションの 設定、ファイルの所有者管理、ハードリンク とシンボリックリンク、プロセス管理、プロ セスの実行優先度	
	11 ～ 20	Linux のインストールとパッケージ管理 ハードディスクのレイアウト設計、ブート ローダのインストール、共有ライブラリ 管理、Debian パッケージの管理、RPM パッケージの管理	41 ～ 50	デバイスと Linux ファイルシステム パーティションとファイルシステムの作成、 ファイルシステムの管理、ファイルシステ ムのマウントとアンマウント、ファイルの配 置と検索	
	21 ～ 30	GNU&UNIX コマンド コマンドライン操作、パイプとリダイレク ト、テキスト処理フィルタ、正規表現を 使ったテキスト検索、vi エディタ	51 ～ 54 55	資格試験対策 科目試験	
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	Linux 教科書 LPIC レベル 1 Version5.0 対応	翔泳社		
	副教材	Linux 教科書 LPIC レベル 1 スピード マスター問題集 Version5.0 対応	翔泳社		
実習環境					
目標資格	資格名		実施団体		
	LPI Level1 Exam 101		LPI		
	LinuC Level1 Exam 101		LPI-Japan		
成績評価方法	・科目試験 (100%)		<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目番号：H-2104

科目名		時間数(90分)			
Linuxサーバ技術2		講義	演習	実習	合計
		55			55
科目概要	Linuxシステムの構築・運用・管理の知識について、テキストや模擬問題を通して学習する。また、LPI Level1 Exam 102、およびLinuC Level1 Exam 102の取得を目指す。				
学習到達目標	Linuxシステムの構築・運用・管理の内容を理解する。また、LPIC、およびLinuCのLevel1 Exam 102に相当する知識と技術を習得する。				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1 ～ 10	シェルとシェルスクリプト シェル環境のカスタマイズ、シェルスクリプト	31 ～ 40	ネットワークの基礎 TCP/IPの基礎、ネットワークの設定、ネットワークのトラブルシューティング、DNSの設定	
	11 ～ 20	ユーザインターフェースとデスクトップ Xのインストールと設定、グラフィカルデスクトップ、アクセシビリティ			
	21 ～ 30	管理タスク ユーザとグループの管理、ジョブスケジューリング、ローカライゼーションと国際化、システムクロックの設定、システムログの設定、メール管理、プリンタ管理	41 ～ 50	セキュリティ ホストレベルのセキュリティ、ユーザに対するセキュリティ管理、OpenSSH、GnuPGによる暗号化	
			51 ～ 54	資格試験対策	
			55	科目試験	
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	Linux教科書 LPICレベル1 Version5.0対応	翔泳社		
	副教材	Linux教科書 LPICレベル1スピードマスター問題集 Version5.0対応	翔泳社		
実習環境					
目標資格	資格名		実施団体		
	LPI Level1 Exam 102		LPI		
	LinuC Level1 Exam 102		LPI-Japan		
成績評価方法	・科目試験(100%)		<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目番号：HSJ-2804

科目名		時間数(90分)			
サーバ構築演習		講義	演習	実習	合計
			20		20
科目概要	Linux サーバの構築方法について、実習を通して Linux のインストールや基本的な CUI 操作などサーバ管理者としての基礎知識を学習する。				
学習到達目標	代表的なサーバ環境の構築を実践することで、OS インストール、各種コマンドの使い方、主要なソフトウェアのインストール～設定方法を身に付ける。				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	OS のインストール			
	2	リモートログイン			
	3	vi の操作とバックアップの取得			
	4	セキュリティの設定(アクセス制御)			
	5	セキュリティの設定(ネットワーク～セキュリティ)			
	8				
	9	LAMP サーバの構築			
	16				
	17				
	19	手順書の動作検証			
	20	提出物の確認			
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	15時間でわかるCentOS集中講座	技術評論社		
	副教材				
実習環境	VirtualBox CentOS				
目標資格	資格名		実施団体		
成績評価方法	・課題提出(100%)		<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		